

カメルーン歴5か月



まなさん通信



2026.06.17
vol.4

日本は梅雨真っ只中。じめじめさが続く中、暑さも増してきたころでしょうか。カメルーンも雨の季節に突入しましたが、まさかの傘いらず!?さて、今月もまなさん通信は～じま～るよ～

日本の梅雨といえば、雨が1日中しとしと降っている日何日も続くイメージだけど、カメルーンの雨季はお日様カンカン照り！1日のうち数時間だけスコールのような豪雨or雷雨がやってきます。(数日降らないことも！)なので雨の時間帯さえ外せば意外と傘なしでも生活できちゃうのです。雨が降ると困ることもありますが、暑さが和らいで風が心地よいので過ごしやすいです♪



街には屋台がいっぱい！

カメルーンには道端にtourne-dosと呼ばれる、パラソル一本で営む露店がたくさんあります。野菜や果物が売られていたり、肉や魚を焼いていた(もちろんその場で捌いている)、なぜか歌まである [deux œufs spaghetti](#) (2つの卵入りスパゲッティ、↑リンクから歌に飛べます笑)、服や靴が平積みされているようなところもあります。少しずつそんな露店のマダムと顔なじみになってきた今日この頃。学校まで歩く道すがら、挨拶をかわすのが毎日の小さな喜びです。ちなみに魚は炭火焼き！これがうまいんだ～



ダンスパーティー？ いいえ、卒業式です。

5月末、1年の締めくくりの卒業式がありました。卒業式といえど、各学年が歌やダンス、劇などを披露する、なんともにぎやかな1日。「6年生を送る会」のような雰囲気だな～と楽しく見ていたのですが、ダンスの終わりに子どもに近づいていく保護者。次の瞬間チップを渡してびっくり仰天！カメルーンでは素敵なパフォーマンスをした人にチップをあげるのがあるあるなようです。そんな何もかも違う卒業式ですが、最後にはローブを着た6年生が口上を述べる場面が。そこでは「私たちは今日、この学校を旅立ちます」のように日本でも聞いたことがある、まさに卒業式！な言い回しをしていてこれは世界共通なのか～と思わず笑みがこぼれたまなさんでした。



まなさん 今こんな感じ～



今月はピンクのブレイズです♪
前回のコーンローを経験すると、今回は全然痛みを感じず！頭皮の引っ張られ耐性がアップしていることを感じました笑

そもそも外干なの！？

前回の通信で反響が大きかった「洗濯について」こんな質問をいただきました。「まなさんがあれだけ赤土が～って言うてるのに、そもそも外干なの？」え、確かに！！私はすっかり洗濯物が道端で干されている景色が当たり前になっていましたが、言われてみれば土まみれになりますよね！意識してみると、まあいろんなところに洗濯物が。学校の囲いでさえも休日は物干し竿になっています。日差しが強いカメルーン。短時間で乾くので土は払えばいい理論なのか、アイロンにすべてを託しているのか。でも1番の理由は、室内干しするスペース足りない問題だと思います。基本的に洗濯は手洗い、数日分まとめてするとすれば量もかなりあります。それに加えてカメルーンの家は子どもが多い！（一人っ子は超激レアです。）これは外で一気に干したくなる気持ちもわかります。

ちなみに学校も兄弟で通っている子が多いのですが、午後からの授業は一足先にクラスが終わった幼稚園生がお兄ちゃんお姉ちゃんの教室にやってきて隣に座って待っている、なんていうのも日常の光景です。



コーナ―



質問



アフリカの国 どのくらい知ってる？



「アフリカ」という大陸のイメージは、ついても国となると…ってなる人は少ないんじゃないかな。でも実際アフリカには54カ国あって、その国民性も、気候も、食べ物も歴史もひとくくりでは説明できない。カメルーンの子どもたちもそれは一緒に「アジア」という地域のイメージはなんとなくついていても、ひとつひとつの国の違いなんてわかっていない子が多い。街で見たことあるのが中国人だから「アジア=中国」ってなってるような気がする。でもそれって当たり前だとも思うんだよね。遠いんだもの。そんな中でこれを読んでくれるみんなは少なくともカメルーンは国として認識してるよね。「知る」ってそういうことなんじゃないかな。知るとあの国の人元気がなって想像できる。知ると何かあったら心配になる。知ると自分ごととして世界が広がる。この夏、そんなあなたの「知る」を広げるイベントを開催するよ！興味がある人ぜひ参加してみてね～！リアルタイムで会えるのを楽しみにしています！



祈るだけじゃダメなのよ

卒業式を終え、夏休みに入った子どもたち。(新学期は9月なので3カ月のバカンスです。長い！)ですが送り出したはずの6年生が毎日学校に来ています。そうです、試験対策講座です。6月中旬の本番に向けて復習に勤しむある日、先生から「神様はミラクルじゃないからね」とありがたい(?)お話がありました。カメルーンは多宗教国家。人それぞれ宗教は違えど、vol.3で書いたように生活のすぐそばに神様の存在があります。(ちなみに私の学校はキリスト教系)それでも「お祈りするだけじゃ試験には受からない。神様は頑張っている人に手を差し伸べてくれるんだからね」と。そりゃそうだ！！なんです、何かあったら、いや、何もなくてもまずはお祈り！なこの国にも『人事を尽くして天命を待つ』的な考え方があるとは。新鮮に感心してしまいました。みんなも学業のお守り買っただけじゃダメなのよ？

